

# 株主・投資家への取り組み

## 株主・投資家との対話

マツダは、持続的な成長と中長期的な企業価値向上に向けて、株主・投資家の皆さまへの適時適切な情報開示と建設的な対話を行うためIR活動を推進しています。株主・投資家の皆さまとの対話の機会として、株主総会をはじめ、四半期ごとの決算説明会を開催し、経営状況や事業活動について説明しています。また、機関投資家、個人投資家、国内・海外の証券アナリストなどへの事業説明会を実施するなど対話機会の充実に努めています。

公式ウェブサイトでは、株主総会や決算発表のスケジュール、業績・財務データなどを開示しているほか、株主総会招集通知（事業報告）、決算短信、決算説明会資料、有価証券報告書、アニュアルレポート、コーポレートガバナンスに関する報告書などを掲載し、公平で透明性の高い情報開示に努めています。

財務情報の国際的な比較可能性の向上やグループ経営の品質向上、ガバナンス強化を目的として、IFRS（国際財務報告基準）の適用を検討しています。なお、適用時期については、他社の採用動向、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

## 2020年3月期の経営状況と配当

マツダは2019年11月に中期経営計画を公表しました。自動車業界は今、100年に一度の変革期の中にあります。CASE（コネクティビティ技術／自動運転技術／シェアード・サービス／電動化技術といった新技術の総称）に代表される時代の要請に応じていくために、クルマの企画、開発、製造、販売、サービスなど多くの領域で変革が求められます。中期経営計画で定めた今後6年間に取り組むべき3つの領域「独自の商品・技術・顧客体験への投資」「ブランド価値を低下させる支出の抑制」「選れている領域への投資」について、その施策と目標を具体化し、CASEなどへの対応を含む将来への投資を行いながら、計画の推進に取り組んでいます。

中期経営計画の初年度である当期においては、コネクティッドサービスの導入に加え、電動化技術のマイルドハイブリッドシステム「M HYBRID (M ハイブリッド)」や、自動運転技術につながる先進安全技術などCASEに対応した技術を商品化しました。新技術による現行世代商品群の進化と共に、MAZDA3に続き、グローバルに成長を続けるSUV市場を見据えた新世代商品第二弾となるCX-30の販売を計画通り開始しています。なお、MAZDA3とCX-30には、ガソリンエンジンにおける圧縮着火を初めて実用化した新世代ガソリンエンジン「SKYACTIV-X」を搭載しています。また、2019年10月の第46回東京モーターショーにおいて、マツダ初の量産電気自動車(EV)となるMX-30を世界初公開し、欧州で2020年9月に発売しました。日本国内では、MX-30のマイルドハイブリッドモデルを2020年10月から販売開始、EVモデルを2021年1月に発売予定です。マツダグループを取り巻く事業環境は、米中貿易摩擦による中国での景気減速や英国のEU離脱問題などにより、世界的に需要が前年比悪化するなど、厳しい状況が続きました。加えて、第4四半期における新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界的に経済の先行きに対する不透明感が急速に高まりました。この感染症は、まず中国などの生産・サプライチェーンに影響を及ぼし、その後、世界的に感染が拡大し、各国での経済活動の停止や金融市場の混乱などに伴い、全市場での販売活動に大きな影響が出ました。

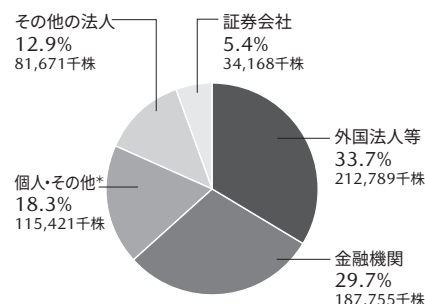
当期のグローバル販売台数は、主要市場での需要縮小に加え、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、前期比9.1%減の1,419千台となりました。売上高は、3兆4,303億円（前期比1,339億円減）となりました。営業利益は、販売費用の抑制やコスト低減による改善があった一方で、為替影響や出荷台数の減少に加えて、成長投資の増加、一過性の品質費用および新型コロナウイルス感染症の感染拡大に起因する費用の発生などにより、436億円（前期比387億円減）となりました。経常利益は531億円（前期比630億円減）、親会社株主に帰属する当期純利益は121億円（前期比511億円減）となりました。

配当金につきましては、当期の業績および経営環境ならびに財務状況等を勘案して決定することを方針とし、安定的な配当の実現と着実な向上に努めることとしています。当期は、1株当たり35円（中間配当15円、期末配当20円）の配当としました。

a

### a 株式の所有者別状況

(2020年3月31日現在)



\*「個人・その他」には自己株式が含まれる。

b

### b 経営状況

(連結、億円)

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
売上高	34,740	35,642	34,303
営業利益	1,464	823	436
親会社株主に帰属する当期純利益	1,121	632	121
設備投資	1,041	1,197	1,326
研究開発費	1,360	1,347	1,350
総資産	27,241	28,776	27,876
自己資本	11,929	12,033	11,749

(千台)

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
(計)	1,631	1,561	1,419
日本	210	215	202
北米	435	421	397
欧州	269	270	264
中国	322	247	212
その他	394	409	345

株主・投資家情報（決算資料・アニュアルレポートなど）  
<https://www.mazda.com/ja/investors>